

# 本書の概要

## 1 政策形成のプロセス

政策形成のプロセスを、主に情報という切り口から整理した。

問題意識をもつ

課題をつかみ対応策（アイデア）をだす

制度・事業としてまとめる

## 2 プロセスごとに必要とされる情報

上記プロセスの段階ごとに、必要となる情報の種類を整理した。

（例）問題意識をもつ段階 - 日常の仕事を通じての疑問・アイデア 等

課題とアイデアの段階 - 体系化情報 等

制度・事業化の段階 - 参考となる制度・事業 等

さらに、それぞれの情報の種類ごとにその情報源、収集に当たっての留意点等を記述した。

## 3 政策情報の集め方

政策情報の収集の実態、収集時期、収集手段を整理した。

特にインターネットによる情報収集については、そのポイントを、個別サイトの特徴を含めて記述した。調査したサイト（分類）は以下のとおり。

国の各省庁

国の外郭団体

都道府県

市町村

大学

シンクタンク

マスコミ

民間団体・個人

検索サイト・ポータルサイト

## 4 政策情報の共有化

県・市町村の政策形成能力を高めるためには、政策情報の共有化が有用であるとの認識のもと、県・市町村の組織内、県と市町村間、各市町村間、行政と県民・住民という共有化の範囲ごとに、共有化により政策形成に役立つ情報の種類や、共有化の手法・課題について整理した。

## 5 おわりに

報告書の内容を具体化するための課題等を整理した。